

すきです

# 南信州

南信州広域だより  
VOL.52 2010.10

南信州広域連合  
飯田市追手町2丁目678  
(長野県飯田合同庁舎内)  
TEL 0265-53-7100  
FAX 0265-53-7155  
URL <http://mi7mi.org/>



minami  
shinshu  
ニッポンの日本。

## 民俗伝統芸能で南信州をPR

9月25・26日に刈谷ハイウェイオアシス（愛知県刈谷市）で、民俗伝統芸能を上演して南信州をPRしました。

今回は10月30・31日に飯田市で開催される「全国獅子舞フェスティバル・飯田市」のPRも兼ねて上演し、上山獅子舞保存会、一色獅子舞保存会、羽場獅子舞保存会、名古熊獅子舞保存会、茶屋町太鼓鼎の5団体の皆さんの熱演に終始多くの観客が集まり、迫力ある獅子舞と軽快な和太鼓の演奏で会場が盛り上りました。

圏域内の人口・世帯数  
(2010.9)

人 口	169,396人
男	80,670人
女	88,726人
世 帯	58,489戸

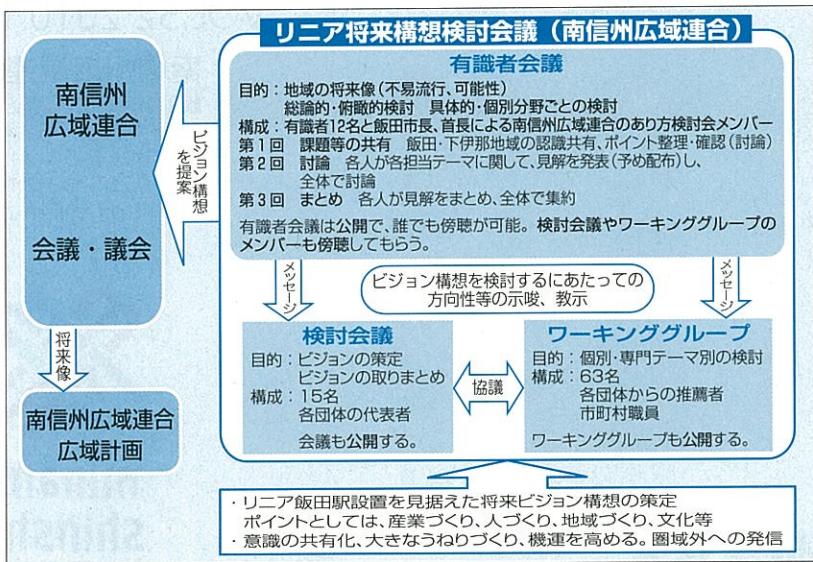
リニアを見据えた地域づくり	2~3
平成22年南信州広域連合議会【第2回臨時会】	4
秋の火災予防運動	5
阿南学園家政グループ	5
南信州レジ袋削減推進協議会の取り組み	6
飯田竜水園 稼働と平行して大規模改修	7
特別養護老人ホームの入所申込みについて	7
消防写生大会入賞作品	8



# リニアを見据えた地域づくり

リニア中央新幹線について、現在国の段階で審議が進んでおり、リニア飯田駅の設置を目指す取り組みは正念場を迎えています。リニア中央新幹線はこの地域の将来を大きく左右するものであり、リニアを見据えて、どのような地域づくりを進めるのか、という意識を地域全体で共有し、それを内外に向けて発信していくことは非常に重要です。

そこで、南信州広域連合は、リニア中央新幹線の開通と飯田駅設置に向け一



有識者會議

各界の専門家12名と市町村長で構成される有識者会議は、9月14日の第3回有識者会議は、をもって全日程を終了しました。有識者委員からは、「30年後の社会」「リニアの影響」「この地域がリニアを見据えて何をするべきか」の3点についての意見をいただいています。

「30年後の社会については、共通して人口減少や少子化、高齢化の予想がある一方で、就労形態や職業意識の変化、農村の可能性が広がる」という予想もありました。「リニアの影響」については大都市圏からの時間距離短縮による影響から、ブランドイメージの構築や交流人口の増加というプラスの側面の指摘がありましたが、人材流出の可能性も指摘されています。また、プラスの側面であっても、充分な

検討会議

検討会議は各団体代表者で組織し、有識者会議の提言やワーキンググループの検討結果を踏まえてビジョン構想の策定を行う会議で、現在までに2回の会議を開催しています。

第1回検討会議ではビジョン構想策定の各ワーキンググループにおけるテーマや、全体スケジュールの確認を行いました。そして第2回検討会議では各ワーキンググループから中間報告を受け、それぞれの検討の方向性や、より掘り下げるべき点について意見交換を行いました。第3回検討会議では、各ワーキンググループの最終報告や有識者会議からのメッセージを受けて、ビジョン構想の最終取りまとめを行う予定です。

受け入れ態勢が整えられなければかえつてマイナスになるという指摘もありました。これらから、「この地域がリニアを見据えて何をするべきか」という点について様々なご意見をいただきましたが、多くの有識者委員からこの地域の魅力の発掘、再評価が重要という意見をいただきました。また具体的な提案も多くいただいています。

The flowchart illustrates the process from vision setting to proposal, involving various meetings and working groups (WG) over five months.

- Phase 1: Vision Setting and Examination** (May)
  - May 5: Vision Setting and Examination (Blue Box)
  - May 17: 1st Stakeholder Meeting (17:30-19:00)
  - May 25: 1st Conference (14:00-16:00)
  - May 31: 2nd Conference (14:00-16:00)
  - June 6: 3rd Conference (14:00-16:00)
  - June 13: 4th Conference (14:00-16:00)
  - June 20: 5th Conference (14:00-16:00)
  - June 27: 6th Conference (14:00-16:00)
  - July 4: 7th Conference (14:00-16:00)
  - July 11: 8th Conference (14:00-16:00)
  - July 18: 9th Conference (14:00-16:00)
  - July 25: 10th Conference (14:00-16:00)
  - August 1: 11th Conference (14:00-16:00)
  - August 8: 12th Conference (14:00-16:00)
  - August 15: 13th Conference (14:00-16:00)
  - August 22: 14th Conference (14:00-16:00)
  - August 29: 15th Conference (14:00-16:00)
  - September 5: 16th Conference (14:00-16:00)
  - September 12: 17th Conference (14:00-16:00)
  - September 19: 18th Conference (14:00-16:00)
  - September 26: 19th Conference (14:00-16:00)
  - October 3: 20th Conference (14:00-16:00)
  - October 10: 21st Conference (14:00-16:00)
  - October 17: 22nd Conference (14:00-16:00)
  - October 24: 23rd Conference (14:00-16:00)
  - October 31: 24th Conference (14:00-16:00)
  - November 7: 25th Conference (14:00-16:00)
  - November 14: 26th Conference (14:00-16:00)
  - November 21: 27th Conference (14:00-16:00)
  - November 28: 28th Conference (14:00-16:00)
- Phase 2: Conference Schedule** (May to November)
  - May 17: 1st Stakeholder Meeting (17:30-19:00)
  - May 25: 1st Conference (14:00-16:00)
  - May 31: 2nd Conference (14:00-16:00)
  - June 6: 3rd Conference (14:00-16:00)
  - June 13: 4th Conference (14:00-16:00)
  - June 20: 5th Conference (14:00-16:00)
  - June 27: 6th Conference (14:00-16:00)
  - July 4: 7th Conference (14:00-16:00)
  - July 11: 8th Conference (14:00-16:00)
  - July 18: 9th Conference (14:00-16:00)
  - July 25: 10th Conference (14:00-16:00)
  - August 1: 11th Conference (14:00-16:00)
  - August 8: 12th Conference (14:00-16:00)
  - August 15: 13th Conference (14:00-16:00)
  - August 22: 14th Conference (14:00-16:00)
  - August 29: 15th Conference (14:00-16:00)
  - September 5: 16th Conference (14:00-16:00)
  - September 12: 17th Conference (14:00-16:00)
  - September 19: 18th Conference (14:00-16:00)
  - September 26: 19th Conference (14:00-16:00)
  - October 3: 20th Conference (14:00-16:00)
  - October 10: 21st Conference (14:00-16:00)
  - October 17: 22nd Conference (14:00-16:00)
  - October 24: 23rd Conference (14:00-16:00)
  - October 31: 24th Conference (14:00-16:00)
  - November 7: 25th Conference (14:00-16:00)
  - November 14: 26th Conference (14:00-16:00)
  - November 21: 27th Conference (14:00-16:00)
  - November 28: 28th Conference (14:00-16:00)
- Phase 3: Finalization and Submission** (November)
  - November 14: Final Conference (14:00-16:00)
  - November 21: Final Conference (14:00-16:00)
  - November 28: Final Conference (14:00-16:00)
  - December 5: Final Conference (14:00-16:00)

リニア将来構想検討会議 有識者会議各委員からの意見

視点	リニア中央新幹線のインパクトに関する評価をそれぞれの専門分野の感度で、どれくらいインパクトがあり、沿線地域にどう影響を与えるか。	飯田・下伊那地域が、リニア中央新幹線飯田駅の設置を見据えて、地域の抵抗力、対内的な地域の持続可能性を持つためには何をすべきか。 また、対外的な戦略は、何をすべきか。
委員		
大西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の増加を見込んで整備された各種インフラ</li> <li>知名度の向上とともに、これまで経験したことのない規模の来訪者数</li> <li>公共・民間両セクターの借金（地方財政の悪化、地元企業の業況不振）</li> <li>十分な案内・接遇を受けられなかった来訪者の不満・苦情</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民主導による世代を超えた息の長い地域づくり（受け入れ体制づくり）</li> <li>地域資源の発掘・見直し（磨き上げ）・発信のサイクルづくり</li> </ul>
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済効果は10.6兆円（品川～名古屋間の開業に伴う50年間の便益）</li> <li>さらに引き出したい立地インパクト（地域としての差別化戦略の構築）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域戦略として「教育環境の整備」「情報通信基盤の整備」「医療・福祉環境の充実」「低炭素型交通体系の整備」</li> <li>対外戦略として飯田・下伊那で「暮らす幸せ」及び「仕事をする素晴らしい」のPR戦略</li> <li>世代戦略（各世代ごとに異なる方策の実践）</li> </ul>
唐木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>人・もの・情報が集まって世界につながる“水平連携”と、多彩な人のつながりから、人が人を呼ぶ連鎖の“垂直連携”的実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IIDAブランド（国際的知名度、時間と空間の結節点、心理的洗練の場所）の確立、価値の創造をして「これまでにならない新しい日本のスポット」や「多機能高付加価値都市圏」を目指す。</li> </ul>
渋澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間短縮のインパクト。</li> <li>地域で働くトップ人材の空洞化</li> <li>「立ち寄りたい、住みたい、働きたい」というコミュニティーづくりに地域の住民一同が取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田駅の周辺に「ゼロ・エミッション都市特区」の設置</li> <li>同特区を軸にした「立ち寄りたい、住みたい、働きたい」というコミュニティーづくりの展開による世界的・強烈なブランド力の構築</li> </ul>
瀬田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の行き来（のみ）が格段に速くなる。</li> <li>製造業への影響も、小さいとはいえない。</li> <li>ストロー効果は、個別に影響は受ける業種はあるかもしれないが、全体としてはあまり心配ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「飯田・下伊那地域の将来像」を地域の多様な主体により検討すべき。</li> <li>地域にふさわしくない開発制限の必要性</li> <li>地域の魅力を訴えるため観光マーケティングが必要</li> <li>研究所など、人材が高い付加価値を生む機能誘致の可能性も高い</li> </ul>
竹内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的なブランド力強化—「リニア」ブランドの発展、再構築による</li> <li>都市と自然の融合—近くで異なる都市との機能の差による無限の可能性—</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標となるビッグビジョンの選定（るべき姿のイメージの共有、るべき姿に基づく地域住民の生活の具現化、キャッチコピーの選定、アクションプランとマイルストンの設置）</li> </ul>
戸田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田周辺へのインパクトとして、「国際性」「リニア都市としてのモデル性」「山岳地域の特徴化」が考えられる。</li> <li>新幹線「ひかり」の利用性が高まるため、東海道都市の人流が促進し、東海地区に本社機能を持つ会社の自立性が高まる。</li> <li>東三河・遠州の中間部は、飯田をエントランスとした圏域に入る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「結い」（自立の社会システム）+社会の企業 → 多様な主体が連動し活躍</li> <li>南信州広域土地利用計画の策定</li> <li>研究開発機能の誘致</li> <li>民族博物館の機能の再考</li> <li>地域実験型大学の設立</li> </ul>
中川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間短縮により都市との距離は、かなり近くなる。</li> <li>人材が流失する懸念も。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「福祉・介護の街」として打ち出す</li> </ul>
藤山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報の超伝導」状態を創れば、プラスのインパクトがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱温暖化の地方都市モデル</li> <li>新たな「地元」づくり</li> <li>時間の「ギャップ」を意識した観光</li> <li>防災センター様々な防災機能—</li> <li>国際的な「人づくりValley（バレー）」に</li> </ul>
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア中央新幹線の飯田駅の直接的な効果は、伊那谷、南信州に限定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に大きな付加価値、知識基盤社会における「研究開発の地（里）」「体験の地（里）」「くつろぎの地（里）」等、多面的な仕掛け作りが必要。</li> </ul>
吉野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利な交通手段の選択肢が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の若いサポーター集団を作る→リニア検討会議・若者版の実施</li> <li>外部の人たちへの働きかけをする</li> </ul>

国土交通大臣が、「中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について」を交通政策審議会へ諮問したことについて、同審議会内に設置された中央新幹線小委員会は、3月3日に第1回目の会議が開催されて以来、これまで計8回開催されています。この間、JR東海及び沿線都道府県知事並びに有識者へのヒアリングが行われるとともに、このことに関するパブリックコメントの募集も行われました。

南信州広域連合では、（意見1）国家プロジェクトとして、早期実現及び、飯田駅の設置を要望。（意見2）リニア中央新幹線飯田駅の設置にあたっては、JR飯田線の現状取り組んでおり、リニア推進にあたってはこれら沿線自治体の意見を十分反映することを意見として提出しました。

三遠南信地域交流ネットワーク会議及びリニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会においても、意見が提出されています。

今後は、有識者からの意見等により論点整理が行われ、今年中に中間報告がされる予定です。

国土交通省  
交通政策審議会 鉄道部会  
中央新幹線小委員会について

# 平成22年南信州広域連合議会 第2回臨時会

平成22年8月27日(金) 飯田広域消防本部 3階大会議室

## 南信州広域連合監査委員に菅沼昭彦氏を選任

壳木村議会の議会議員の変更に伴い、新たに広域連合議会議員に選出された後藤文登議員を迎えて、平成22年第2回臨時会が1日間の会期で開催されました。

提出議案は人事案件1件、予算案件4件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。

### 【議案の内容】

#### 議案第14号 南信州広域連合監査委員の選任について

\*任期満了に伴い欠員となっていた監査委員に高森町の菅沼昭彦氏が選任されました。

#### 議案第15号 平成22年度南信州広域連合一般会計補正予算(第1号)

#### 議案第16号 平成22年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計補正予算(第1号)

#### 議案第17号 平成22年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第1号)

#### 議案第18号 平成22年度南信州広域連合阿南学園特別会計補正予算(第1号)

\*各会計、制度の改正に伴う子ども手当の増額、児童手当の減額を行いました。

### 【全員協議会】

#### 『リニア飯田駅は現飯田駅に併設』を意見集約する。

##### 議会各検討委員会からの報告

- ・消防広域化検討委員会(木下克志委員長) 報告
- ・地域課題検討委員会(林幸次委員長) 報告

##### リニア中央新幹線の取り組みについて及びリニア将来構想検討会議の経過報告について

\*地域課題検討委員会の報告を受け、『リニア飯田駅は現飯田駅に併設する』ことについて、今後、起こり得る様々な課題については、丁寧な手続きと充分な議論をつくし、広域連合議会として取り組みが出来るよう意見を付して意見集約がなされました。

これを受け、南信州広域連合議長と南信州広域連合長の連名で、国土交通省へ「中央新幹線に関するパブリックコメント」に対して意見を提出いたしました。

\*リニア将来構想検討会議有識者会議・検討会議・各ワーキンググループの経過報告をし、聞きおくと集約されました。

##### 定住自立圏形成協定における病児・病後児保育事業の追加について

\*病児・病後児保育事業の内容について説明し、各市町村議会において「定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて」議決し、追加協定していくことが了承されました。

##### 消防の広域化について

\*消防本部の組織体制について、組織の一体性を重視しつつ、地域特性を考慮した本部体制をベースとして「広域消防将来ビジョン」策定に引き続き取り組むとの説明があり、聞きおくと集約されました。

##### リサイクルセンターの管理運営について

\*平成23年度から開設するリサイクルセンターの管理運営について説明があり、聞きおくと集約されました。

##### 阿南学園の指定管理について

\*平成23年度から指定管理する阿南学園について、社会福祉法人の設立、指定管理者との協定事項、今後のスケジュールについて説明があり、聞きおくと集約されました。

##### 広域計画策定委員会の経過報告について

\*基本構想に相当する「地域振興の理念」(めざす姿)をリニア将来構想検討会議での検討を踏まえて策定すること、今後のスケジュールについて説明があり、聞きおくと集約されました。

##### 南信州地域公共交通実績報告について

\*南信州地域公共交通問題協議会の第1四半期の利用実績について説明があり、聞きおくと集約されました。

##### 南信州マーケティングショップについて

\*平成21年度の事業報告と平成22年度の取り組みについて説明があり、聞きおくと集約されました。

## 南信州広域連合議会議員研修視察実施

南信州広域連合議会では、平成22年7月29日(木)にリニア中央新幹線が着工に向けて着実に、そして大きく前進しつつあるこの期をとらえて、永年の悲願であるリニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置を見据えて、今から地域将来像を検討し、リニア中央新幹線の理解を深めるため視察を実施しました。

山梨県立リニア見学センターでは、リニアの試験走行を目の当たりにすることができ、リニアに対する夢が大きくなりました。また、山梨県企画県民部リニア交通課では、リニアに対する取り組みについて説明を受け、ビジョン構想の検討や議会活動に役立ててもらうよい機会になったと思います。

11月9日～11月15日

## 秋の火災予防運動が実施されます

平成22年1月から9月末までの火災件数は62件でした。このうち建物火災は30件で、その原因の1位はたばこ、2位はガスコンロ、3位はストーブに困るもので、いずれもチョットした不注意で火災が発生しています。

### たばこ 7件

#### 吸い殻の処理方法は適切ですか？

- ゴミ箱に消えたと思いそのまま捨てる。
- 空き缶を灰皿にしたり、灰皿に吸い殻がやまもり。
- 灰皿の中に水を入れたりし、ゴミ袋に入れる場合は、完全に消火したことを確認した後にしましょう！



### ガスコンロ 6件

- 天ぷらなべのかけ忘れに注意！  
こんなに火をつけたまま大丈夫と思い、その場を離れてしまう。
- その場を絶対にはなれない。
  - 調理中の訪問者や電話があった場合は必ず火を消してから。
  - 訪問時や電話をした場合「今、大丈夫ですか？」の一言を。



### ストーブ 3件

- ストーブの周りに可燃物がたくさん！  
ストーブのガードを取り外した使用。
- ストーブの周りはもちろん、火を使う場所は整理整頓しておきましょう！
  - 暖房器具を取り扱う季節が近づいてきます。ストーブに給油する際には、その場を離れず安全に行ってください。



#### 住宅用火災警報器は設置してありますか？

平成22年6月時点の住宅用火災警報器の普及推計結果が発表されました。  
飯田下伊那地方は48.7%でした。  
平成21年6月から全ての住宅に義務となっています。  
住宅用火災警報器は、あなたや大切な家族の命を守るものです。



設置されていない方は、大至急設置してください。

### 消防署イベント情報

#### ①消防ふれあい広場

- 日時 平成22年11月6日(土)  
AM10:00～PM1:00  
会場 ジャスコ飯田店（飯田市上郷飯沼）  
内容 はしご車・消防ポンプ車・救急車の展示・  
防火服を着て写真撮影  
消火器体験コーナー・紙しばいの上演・  
幼年消防クラブによる防火チラシの配布

#### ②消防体験広場

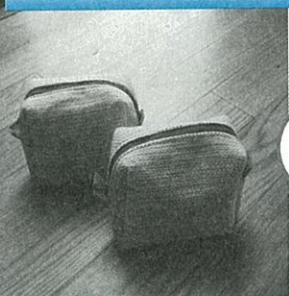
- 日時 平成22年11月13日(土)  
AM10:00～PM 1:00  
会場 伊賀良消防署訓練場（飯田市上殿岡）  
内容 「きみは、未来の消防士」  
消防ポンプ車の放水体験・ミニレスキュー  
救急隊員になってみよう

★はしご車・消防自動車・救急車と一緒に写真をとりませんか。

飯田広域消防本部



## 阿南学園家政タルーフ



温もり感じる  
手染めのはざま織り  
ポーチとバックです。  
贈り物としても  
喜ばれています。

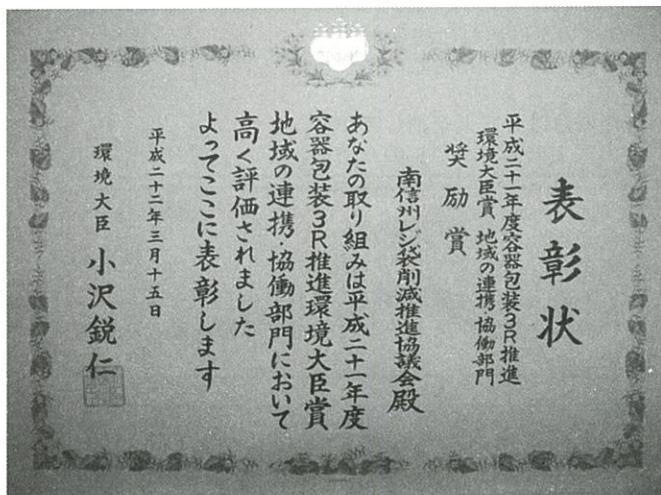


◀問い合わせ先  
0260-22-2100

循環型社会の形成と地球温暖化防止に向けて、レジ袋削減の取り組み実施中!!  
南信州レジ袋削減推進協議会の取り組み状況をお知らせします。

## マイバッグ等を持参し、レジ袋を辞退しましょう。 引き続き、消費者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

□■□ 取組登録店 飯田下伊那地域14市町村 139店舗 □■□  
【廃止15店舗、有料化105店舗、値引き19店舗 (平成22年4月1日現在)】



### 新たな取組店舗を募集中です！

【問合せ先】 南信州レジ袋削減推進協議会  
事務局 豊かな環境づくり飯伊地域会議  
(長野県下伊那地方事務所環境課内)  
TEL 0265-53-0434/FAX 0265-53-0467

平成20年10月にレジ袋辞退率80%以上を目標に登録事業者の取り組みを開始し、平成21年2月1日からは、飯田下伊那全域で一斉にレジ袋の無料配布中止の取り組みを行い、レジ袋辞退率が取り組み前の34.8%から平成21年3月には87.4%に向上しました。

こうした地域の取り組みが評価され、平成21年12月5日には、長野県地球温暖化防止活動推進センター主催の「さわやか信州エコグランプリ2009」において優秀賞（長野県知事賞）を受賞しました。

また、平成22年3月15日には、容器包装3R推進環境大臣賞（地域の連携・協働部門）奨励賞を受賞しました。



登録店ステッカー

このステッカーを見かけたら、そのお店は協議会へ登録してレジ袋の削減に取り組んでいるお店です。

### 数字で見るレジ袋削減の効果

#### レジ袋にはこんなに資源が使われています。

##### ◆日本全体では

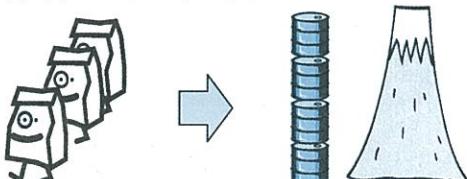
年間約305億枚(一人当たり260枚) ⇒ 原油(原料+エネルギー) 55.8万KL

日本の年間原油輸入量である約2億4千万KL(02年)で比較すると、輸入量の1日分弱の原油がレジ袋に使用されていることになります。

##### ◆南信州では

年間約4,500万枚(一人当たり260枚) ⇒ 原油(原料+エネルギー) 820KL

- ・ドラム缶 約4,100本分
- ・積上げると 3,698m  
(富士山: 3,776m)
- ・CO<sub>2</sub>排出量 275万kg  
(1枚61g換算)



南信州からレジ袋をなくすことで、石油資源、市町村のごみ処理費の費用を削減できます。  
原油輸送、レジ袋の製造・輸送・リサイクルの過程で発生するCO<sub>2</sub>を抑制することができます。

誰でも今すぐできるいいことづくめの「レジ袋削減」小さく生んで大きく育てよう。

## 飯田竜水園 —稼働と平行して大規模改修中—

飯田竜水園は、平成5年の稼働開始から16年が経過し、機械設備等の経年劣化が進行していることに加え、水洗化率の増加に伴うし尿・汚泥搬入量が稼働開始当初に比べ半分以下となってきたことから施設改修を行っています。

平成21年11月より3か年事業として開始された飯田竜水園施設改修工事は、平成22年8月現在までに新型脱水機(2台)の設置、既設水槽のコンパクト化工事等が行われ、全体工事の約61%まで進捗しています。

引き続き工事にあたっては公害防止基準を遵守すると共に、周辺地域の環境影響を十分に配慮し、安全で安心な工事を進めております。

新しく設置された脱水機

## 桐林クリーンセンター

### ●安心・安全を目指して稼働しています — ダイオキシン類測定状況 —

排ガス中ダイオキシン類測定について、平成22年3月、6月の測定結果をお知らせいたします。

調査機関：(株)ユニチカ環境技術センター (単位: ng-TEQ/m<sup>3</sup>N)

測定月	3月	6月	地元協定値	国基準値
A系統	0.00061	0.000018	0.05	5
B系統	0.0070	0.00011		(2t/h未満)

※測定結果については、地元協定値・国基準値を下回っています。

※桐林クリーンセンターの焼却能力は2t/h未満で、国の基準値は5ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nですが、協定値では基準値の一番低い0.1ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nを参考にしました。

※単位「ng」は10億分の1gの濃度。

※「TEQ」：毒性等量のこと、毒性等価係数により換算した量。

※「m<sup>3</sup>N」：0°C、1気圧における気体の体積。

## 特別養護老人ホームの入所申込みについて

南信州広域連合では特別養護老人ホームの入所調整を行っております。

### ●入所申込みにあたって

**入所できる方** 特別養護老人ホームに入所できる方は、要介護認定で要介護に認定された方です。

**申込書** 申込書は、南信州広域連合介護保険係(飯田市役所内)と飯田・下伊那の市町村役場にあります。

**申込書の記入** 入所希望者のケアプラン作成を担当するケアマネージャー等にお願いしてください。  
12施設の中から希望する施設の申込みができます。

**提出先** 申込書は、市町村の介護保険担当係へ提出してください。

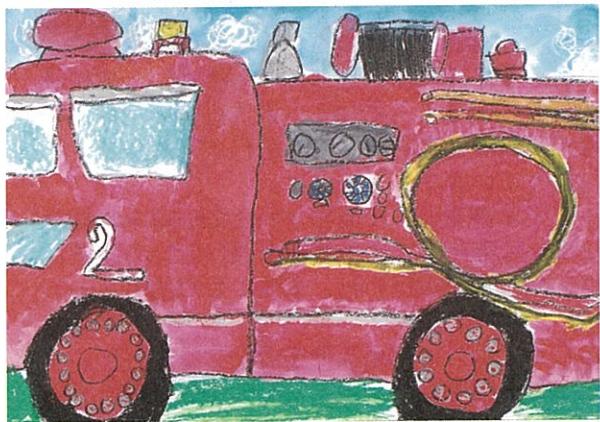
**その他** 不明な点は、市町村の介護保険担当係、南信州広域連合介護保険係までお気軽にお尋ねください。

### ●入所調整をする施設は次の12の特別養護老人ホームです。

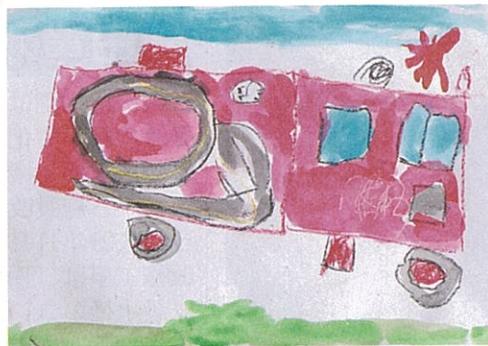
施設名	定員	住所	電話番号
飯田荘	60人	飯田市東栄町3114-1	0265-23-7888
第二飯田荘	50人	飯田市東栄町3171-1	0265-53-6677
遠山荘	45人	飯田市南信濃和田1550	0260-34-5522
ゆい	54人	飯田市龍江7159-1	0265-27-4600
松川荘	50人	松川町元大島2965-1	0265-36-5200
あさぎりの郷	64人	高森町吉田484-1	0265-34-3630
阿南荘	80人	阿南町北条2411	0260-22-2171
赤石寮	70人	阿南町新野28-4	0260-24-2316
阿智荘	50人	阿智村智里491-41	0265-43-2891
天龍荘	50人	天龍村平岡773-1	0260-32-3356
やすおか荘	50人	泰阜村7565-3	0260-25-2331
喬木荘	50人	喬木村3286-1	0265-33-4433

## 消防写生大会の入賞作品

9月25日(土)、飯田消防署を会場に消防写生大会が行われ、多くの方々にご参加いただきました。出展数80点のうち入賞者は次のとおりです。



**消防長賞** 追手町小 1年 西浦 ひかる



**飯田地区幼少年婦人防火委員会長賞**

川路保育園 年少 松下 拓朗



入賞作品は  
次の日程で展示されます。

- 10月14日～10月29日  
飯田市役所1階ロビー  
※金賞6点のみ展示
- 11月9日～11月15日  
アピタ飯田店2階特設会場  
※入賞全30点を展示



**金賞** 丸山小 3年  
久保田 隆介



**金賞** 下條保育所 年長  
吉井 萌萌花



**金賞** 追手町小 4年 清水 碧人



**金賞** 龍江小 2年 塩澤 昂

### 銀賞

追手町小学校	6年	西 浦 遼
追手町小学校	4年	西 浦 麗
追手町小学校	2年	牧 島 流 風
追手町小学校	1年	清 水 さくら
追手町小学校	1年	中 川 竣 介
川路小学校	5年	代 田 晃 大
松尾小学校	3年	北 沢 麗 大
川路保育園	年長	松 下 一 葉
飯田中央保育園	年少	寺 沢 晴 貴
下條保育所	年中	内 藤 陽 葵

### 銅賞

丸山小学校	3年	清 水 梨 那
丸山小学校	2年	松 田 麻 果
丸山小学校	2年	久保田 康 介
川路小学校	5年	長谷部 隼 人
川路小学校	1年	関 島 美 紅
追手町小学校	1年	中 川 敬 介
鼎小学校	6年	林 幹 太
高森北小学校	4年	矢 沢 優 太
阿智第2小学校	1年	井 原 千 花
座光寺保育園	年長	代 田 美 優
鼎みつば保育園	年長	澤 柳 悠
上郷東保育園	年中	久保田 悠 介
下條保育所	年中	小木曾 太 論
時又保育園	年少	佐 藤 及 愛

(各賞受付順に掲載・敬称略)



南信州広域だより VOL.52 2010.10

南信州広域連合 飯田市追手町2丁目678 (長野県飯田合同庁舎内)  
TEL 0265-53-7100 FAX 0265-53-7155 URL <http://mi7mi.org/>  
南信州の観光情報は「南信州ナビ」へ <http://www.ii-s.org/>

